

こうしょう 校章デザイン募集！ ほしゅう

せいらう 猪名川町立 清陵 中学校の校章デザインを募集します

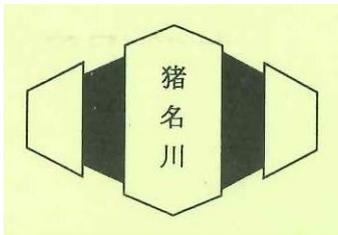
校章 (こうしょう)

多くの学校では校章が定められています。皆さんの小学校、中学校にも校章があります。

校章とは、その学校を象徴しょうちやうするためにデザインされたマーク(学校のシンボルマーク)です。学校の正門や体育館、校旗など、学校を表すマークとしていろいろなところで使われています。

また、校章は、その学校をイメージするデザインとなっていることが多いです。

新しい時代をたくましく生き抜く人間が育つ新しい学校、猪名川町に誕生する「清陵せいらう中学校」にふさわしい校章を考えてください。



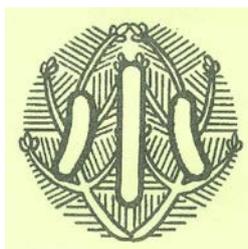
猪名川小学校



楊津小学校



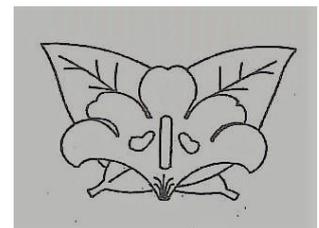
大島小学校



松尾台小学校



白金小学校



つつじが丘小学校



中谷中学校



六瀬中学校



猪名川中学校

【参考】校章の由来や校章を決めるにあたっての思いなどの一例を紹介します。



形はダイヤモンドを図案化したもの。3つに分けられているのは、猪名川の「川」と小学校の「小」を兼ねたデザイン。あわせて子どもを両手にした教師の姿をイメージしている。中央の校名の「猪名川」は、肉太の角ゴシック体で子どもたちの「たくましさ」と「健康」を願っている。



中の文字は楊津の「楊」を表し、半円の上半分は「六」、下半分は「せ」となり、旧六瀬村の「六瀬」を表している。



鳥をイメージして造られた校舎。白金の「白」の文字を鳥の羽根と姿にデザインしている。



ツツジの花を図案化している。5枚の花びらは、人間の五感の働く器官を表し、人間の感性を培い、自立していく力をつける。小の字は、ツツジの花の命をつくる「めしべ」と「おしべ」を表し、男女共生と平和な共生社会をめざす。葉の部分は、太陽の光を受け、光合成の働きをすることで、自然のエネルギーを受けて大きく育つ意味を持つ。花が扇のようになっているのは、中心より末広がり成長していく子どもの成長のイメージを表す。葉が、羽のようになっているのは、今まさにはばたこうとしているイメージを表す。



「中」の中心の三本線は、「猪名川」と「真・善・美」の三本柱を表している。上部の花は、猪名川町の花「山つつじ」を表している。周りの二本の線は、猪名川町の木「黒松」の葉を表している。